

特集 愛飲者インタビュー①

いつも20歳以上 若く見られる秘訣は SOD歴20年

京都市にお住まいの山口幸子さん（73歳）

日本
SOD
研究会報

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川1-15-2 B棟2802
TEL. 03-5787-3498
協力：株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

京都で美容院を営む山口さん。15歳からこの世界に入って、キャリア60年近くになる大ベテラン。もちろん今も現役です。

「仕事を始めた当初は住み込みでしたから、美容院の仕事だけじゃなくて、食事の支度から掃除、洗濯なんでもしましたよ。15歳で、というところの人は驚かれますが、当時は普通によくあることでしたから」

いわゆる丁稚奉公。戦後、60年ほど前の日本は、地方から都会の工場などに集団就職が盛んでした。ほとんどが住み込みで技術の習得に励んでいたのです。映画『三丁目の夕日』の世界ですね。お休みは週に一回。仕事以外に炊事洗濯掃除までこなしていたのですから、寝る時間以外はほぼ労働時間だったはず。

「友人は休みの日には遊園地やデパートに行って息抜きをしていましたが、私はそんな元気はなかった。疲れやすく、いつも休みの日は部屋で休んでいました。体が弱いのかと思っていました」

そんなときに美容院のオーナーである師匠が、異変に気づいてくれました。

「喉仏が腫れているんじゃないかって。男の人なら喉仏が出ていて当たり前でしょ。でも女性で出ているのはおかしいと。病院に行ってくださいと言ってくれたんです」

幸いにも近所に京都大学の付属病院があり、そこで診察を受けた幸子さん。血液検査、レントゲン、組織検査など、数日に渡って精密な検査をしてもらったといいます。

「そして分かった病名が単純性甲状腺腫でした。先生は、この病気は一生治らないけど、命にすぐには関わらないから、薬で様子を見ましようと言われ、2週間分の薬をもらって帰りました」

単純性甲状腺腫というのは、思春期の女性に多い病気で、親族にバセドウ氏病などがあると、稀に遺伝的に発症するそうです。ただ、肥大化しない限り、直接命に関わることはなく、治療の必要はないそうです。しかし、当時の医療の診断では、完治は難しく、薬を飲み続けることしかなかったのだとか。

「一生治らないと言われ、薬を飲んでも治らなくて、飲まなくても悪くはならないんだったら、薬なん

か飲む必要があるのになつて。だから薬をやめたんです」

まだ10代だった幸子さん。慣れない仕事で疲れが出ていたのか、しばらくするとすっかり元気になり、仕事に没頭していました。そうして10年余り。努力の甲斐があつて27歳のとき独立。一国一城の主として自分の美容室を開業したのです。

「独立をしたときに、そういえばあの甲状腺の病気はどうなったのかわかり出したんです。というのも、これからは自分の体だけが資本だから、健康にも気をつけなけ



ればいけないなと思ったからです。10年ぶりに京都大学医学部付属病院で健康診断といっしょに甲状腺の検査してもらったんです。そうしたら、全く異常なしという結果だったんです。いつの間にか単純性甲状腺腫という病気がなくなっていたんですね」

そのときに思ったそうです。薬ってなんだろう。病気を治すものだというけれど、本当に必要なんだろうかと。ちょうど世の中が水俣病など公害訴訟やワクチン訴訟が起こり、企業に対して軒並み勝訴を勝ち取った時でした。同時に薬害という言葉もささやかれ始めました。

「10代の時の経験もあつて、薬を盲信するタイプではなかったですね。風邪をひいても薬なんか飲まなかった、というか飲みたくなかった。体に余計なものを入れたくないと思っていました」

C型肝炎になつても インターフェロン注射拒否

独立して、結婚。二人の子宝にも恵まれ、順風満帆だった幸子さ

んが、喉に違和感を覚えたのが20年前のこと。53歳、年齢的には更年期を迎え、女性の体に大きな変化が起こる年代です。

「つばを飲み込んだときに違和感があったんです。その時に思い出したのが甲状腺の病気でした。この病気は治らないからと言われたことを思い出し、こんな時に出てくるんだと怖かったですね」

こんな時というのは、更年期に加えてお母様の介護のことで悩みを抱えていたからです。ストレスは万病の元といえます。

「病院で胃カメラを入れてもらい、いろいろな検査をしたら、甲状腺は全く異常なしだったのですが、C型肝炎が見つかったんです」

C型肝炎というのは、肝炎情報センターのHPによると、C型肝炎ウイルス(HCV)の感染により起こる肝臓の病気です。HCVに感染すると約70%の人が持続感染者となり、慢性肝炎、肝硬変、肝がんと進行する場合があります。HCVは感染者の血液を介して感染します。感染経路としては、感染した人の血液を輸血(1990年代初頭は血液製剤を通しての感

染がありました。現在は嚴重にチェックされているのでまず感染は起こりません)や汚染された注射器や針などによる入れ墨、アートのメイクなどによることが多いそうです。一方、常識的な社会生活のうえで、他人の血液に直接触れることが無ければ、家庭や集団生活での感染の恐れはほとんどありませんし、握手や抱擁、食器の共用や入浴での感染はないそうです。

「思い当たる原因は昔のことですから分からないのですが、とにかく治療法はインターフェロンの注射とリバビリンという飲み薬しかなかったんです。でも、私はどうしても薬はやりたくなかった。副作用のことが心配でした」

肝炎情報センターHPによると、やはり、インターフェロン治療は効果が不十分で副作用も多く、新しい治療が望まれていたところ、副作用が劇的に少なく、効果的なDAA(直接作用型抗ウイルス薬)だけのインターフェロンフリー治療が2016年以降に行われるようになりました。現在ではインターフェロン治療はほとんど行われなそうです。インターフェロンの

副作用には、糖尿病の悪化、リウマチ、うつ、間質性肺炎、食欲不振、不眠など、非常に多くの疾患が報告され、危険視されていました。

このとき幸子さんが、薬はいやだから使いたくなかった、という判断は実に的確だったことになりました。そこには意外な根拠がありました。

「今は毛髪分析でDNAや病気が分かる時代ですよ。実は、美容師は昔から髪や毛根を見れば健康状態がある程度分かったといわれているんです。というのも栄養学や予防医学の研修会などが頻繁に行われ、勉強している人が多いんですよ。私も、お客さんの髪から学ぶことが多く、自然とそういうものに興味を持ち、勉強会には積極的に参加していたんです。なので薬を使いたくなかった。食べ物もそうですが、添加物とか合成化合物が増えれば増えるほど、体に良くないですよ。私は、3日間放置しておいても腐らないまんじゅうなんか絶対に食べないです」

そういう幸子さんは、なんとC型肝炎発覚から10年以上薬も飲まず検査だけしていたそうです。そ

の間、放っておけば肝炎が進行していたのではと聞くと、「悪くはなっていないかったです。だってSODを飲んでいましたから」

丹羽先生の講演会にも参加 無添加無農薬にこだわり 医師も驚く健康体

幸子さんとSODの出会いとは、なんと20年にも及ぶそうです。そのきっかけは、美容師という幸子さんの仕事でした。髪や肌で健康状態が分かるように、美容業界では、予防医学や栄養学の講習会が盛んに行われています。そんな勉強のなかで、丹羽先生に出会ったのでした。

「いくつかの講習会で、丹羽先生のお話が出てきたんです。がんやアトピーなどほとんどの病気は活性酸素が原因で、抗がん剤やステロイドの怖さなど薬害についても、すごく納得できたんです。それで丹羽先生の講演会にも行きました」

講演会だけでなく、さらに

「大阪の診療所で診察もしていたできました。肝炎のことが気がかり

で、丹羽先生はどうおっしゃるか聞きたかったんです。そしたら、肝炎は治る病気だけど、気をつけないとがんになるリスクもあると言われました。そして先生が開発した独自の漢方の薬もいただき、SODと併用して飲むようにと言われました」

仕事が忙しく、なかなか頻繁には診療所には通えなかったそうですが、市販で手に入るSODだけは欠かさず飲み続けたとか。

そんな中、2014年に飲み薬だけのインターフェロンフリー治療が始まり、数週間飲み続けると95%の人が肝炎ウイルスを体内からなくすることができるようになったのです(肝炎情報センターHPより)

「私も4年前にこのインターフェロンフリーの飲み薬でC型肝炎を完治させました。これは心配していた副作用もないということで、私も飲みました。私の肝炎が10年以上インターフェロン注射をしなくても病状が悪化しなかった、そして薬で早々に完治できたのは、

間違いなくSODのおかげだと思います。栄養学や食品添加物の

ことなどを勉強しているなかで丹羽先生に出会ったのは本当にラッキーだったと思います」

幸子さんは4〜8包のSODを体調に合わせて毎日欠かさず飲んでいていいます。それも20年間。現在73歳ですが、

「よく50代に見られますね。どうしてそんなに若いのかとお客さんから聞かれたら、SODのことや食生活のことをお話するんです。世の中には農薬に汚染された野菜、抗生剤を大量に投与されている食肉や酸化している油など、危険な食べ物がいっぱい。やはり、口に入れるものは新鮮で自然なものがいいから。私は外食も、ちゃんとしたレベルのお店でないと行かないです。チェーン店の厨房など、泡だらけの洗剤の中にお皿をつけて、ちゃっちゃと簡単にすすいでいる。ぞっとしますね。うちは洗剤にもすごく気を遣っているんですよ。だって、お客さんの顔にかけるタオルを洗うんですから、天然由来のものしか使わないです」

若さの秘訣はこんなこだわりの生活からきているのだしょう。

「薬を飲まないのも健康の秘訣ですよね。うちの母なんかしょっちゅう薬を飲んでた。医者に言われるままに、高血圧やコレステロール、リウマチなんかの薬をきっちりケースに分けて、毎日飲んでいましたけど、ぜんぜん良くならなかった。どんどん弱っていった。体に悪いからやめるように言っても、お医者さんが言うから間違いないって。年寄りにはかたくなだから困るわね」

「と言いつつ、あ、私も年寄りだったと大笑い。」

「SODはいろんな方に勧めていますね。弟が疲れていたから2包あげたんです。そうしたら、姉さん、あれって麻薬と違うの？すぐに元気になった、とびつくりしていました。また、SOD飲み始めたお客さんが、1ヶ月後にカッターにいらしたとき、ドアを開けて入っていらしたその姿、肌つやが、とてもきれいになっていて驚きましたね。なにかSOD飲むと変化があるんです。違うんです。もちろん、どこも良くならなかったからといって1ヶ月でやめる方もいます。少なくとも3ヶ月から半年続

ければ違いが分かるのにね」

そうはいってもSOD歴20年には誰もかいません。定期的に行っている血液検査はすべてパーフェクトだとか。先日は脳ドックまで受けられ、

「先生がこんな人見たことないと言って驚くんです。で、脳の画像を見せてもらったんですが、炭で描いたように真っ黒なんです。これはいいんですか、悪いんですかって聞いたら、若者の脳みたいですよ」

SODを飲み、食事などに注意を払い、さらに手先を使うお仕事を現役でやっているのですから。

「あ、毎朝、30分の体操も欠かしません」

完璧です。参りました。



SOD愛飲者 インタビュー②

パニック障害、脳梗塞、閃輝暗点 SODと黒胡麻で克服

神奈川県にお住まいの松山朝子さん（75歳）

神奈川県横浜市、閑静な住宅街の一角に6年前、娘さん一家と一緒に引っ越してきた朝子さん。2世帯住宅で親子3世代での生活とはうらやましい限り。

「でも、自分のことはすべて自分でやっているんですよ。みなさんは上げ膳据え膳の優雅な老後なんて想像しますが、そんなじゃボケてしまいます」

とおっしゃるだけあって、姿勢も良く、シャキッとされている朝子さん。聞けばスポーツジムには何年も通い、毎朝飲むグリーンスムージーは手作り。ぬか漬け、天日干しのゴボウから作る手作りゴボウ茶など、体にいいものばかりのお話のつけから次々と出てきました。壁には様々な情報から得た健康維持に気をつけることが箇

条書きにした紙が貼ってありました。

「なぜかという、私は子供の頃から湿疹が多く出て、半袖が着られなかったくらいだったんです。いわゆるアトピーだったんでしょうね。それで薬を飲んだり塗ったりするとさらに悪くなって、以来、薬アレルギーになったんです。それで食べ物や添加物などに詳しくなったんですね」

そんな朝子さん、実は40年近くもパニック障害に悩まされてきました。パニック障害というと、最近芸能人も公言して休業するように、実は日本人の100人にひとりが発症しているのではないかといわれています。

パニック障害とは、（以下厚生労働省のHPみんなのメンタルヘル

スより)突然理由もなく、動悸やめまい、発汗、窒息感、吐き気、手足の震えといった発作(パニック発作)を起し、そのために生活に支障が出ている状態をいいます。このパニック発作は、死んでしまうのではないかと思うほど強く、自分ではコントロールできないと感じます。そのため、また発作が起

きたらどうしようかと不安になり、発作が起きやすい場所や状況を避けるようになります。とくに、電車やエレベーターの中など閉じられた空間では「逃げられない」と感じて、外出ができなくなってしまうことがあります。治療は、薬による治療とあわせて、少しずつ苦手なことに慣れていく心理療法



きれいな字で書かれた体のために気をつけることのメモたち

が行われます。なりやすいタイプは真面目で責任感の強い人など。ストレスや睡眠不足なども注意が必要です。

「パニック障害になった原因はよくわからないのですが、主人が脳梗塞で入院を繰り返して、人工透析もするようになり、精神的に追い詰められていたんでしょね。それと二人目の子供の出産直後、甲状腺肥大になって、疲れやすくなっていたんです。あと几帳面な性格なので、そういうことも原因だとは医者から言われました」

ご主人が亡くなられたとき、朝子さんは44歳。ご主人の早すぎる逝去に、彼女の精神的、肉体的なダメージは増すばかりだったことでしょう。

「あるとき、突然、息苦しいという心臓がドキドキして、めまいがするようになったんです。普段はなんでもないんですが、いやなこ

絶対に飲みたくなかったので、様子を見ながらストレスなく生活することを心がけるようにしていましたね」

薬がダメなら、食生活と運動に気をつけばいいと切り替えた朝子さんは、スポーツジムにも通い始めました。そうして20年近く、パニック障害とうまく付き合っていたのです。

脳梗塞に処方された薬で湿疹、動悸息切れの副反応

「2009年の6月20日、膝の状態が悪くなって、評判のいい健康サロンに行ったんです。そこで膝の状態はすぐに治って、そのサロンにSODが置いてあったんです。パニック障害という持病があつて、健康食品には興味があり、見つけては説明を聞いていたので、SODも評判のサロンに置いてあるのだからいいものではないかと思っただけです。そこで丹羽先生がSODを開発するに至った経緯などを教えてもらったんです。息子さんを白血病で亡くし、そのときに壮絶な抗がん剤治療をしたこと

その経験から副作用のないがんのお薬を開発したという話を聞いて、このサプリは薬アレルギーの私にとって、信じられるものかもしれないと思ったんです」

最初は1箱購入して1日6包ずつ飲んだとか。

「そうしたらすぐく元気になったんです。なんか活力が湧くような感じでした。でも、高価なものだったので、1箱飲みきって次は購入しなかったんです。そうしたら翌年の2月に右指の第一関節にしびれが出てきて、変だなと思っていたら今度は左指にもしびれが出てきたんです」

近所の病院に行くと、1週間くらい様子を見ましようと言われたとか。それでもしびれが治らないので大きな病院でMRI検査をしてもらいました。しびれが出てから一か月後のことでした。

「2010年の3月に大きな病院でMRI検査をしてもらいました。そうしたら脳梗塞の可能性があると言われたんです。ショックでしたね。手術や入院まではいかないけれど、やはり薬を飲まないと悪化するし、手足のしびれは一生治

らないとも言われたんです」

とはいえ朝子さんには薬アレルギーがあり、薬はほとんど受け付けません。そのことを先生にも伝えたところ、この薬を飲んで副作用が出た人はひとりもないといわれて処方されたのが、抗精神病剤のグラマリールと抗血小板剤のニチアスピリンでした。

「仕方なく飲みました。そうしたらやっぱり、1週間で手足に湿疹が出て、心臓がバクバク。先生にそのことを伝え、薬は無理ですって言ったんです。なのに薬をやめたら大変なことになると脅されてしまいました。薬を飲むほうがよほど大変なことになるのにな。薬を飲まない人は診ないって先生



怒っちゃって、その病院には二度と行っていません」

という朝子さん。そこで思い出したのがSODでした。こんなときこそ飲まなくてはいけないと、最初は思い切って多めに10包を飲み始めたのです。

SODと

乳酸菌発酵黒胡麻で 長年の悩みに変化が

脳梗塞になってから、もうひとつ、パニック障害の症状もひどくなるようになったそうです。

「電車に乗れないんです。ホームに立って電車を待っているのですが、いざ電車がホームに入ってきてドアが開くと、怖くて乗れないんです。何本も電車を乗り過ごし、結局、乗れずに帰ってきたこともありました」

その後、SODは1日6包に落ち着き、1包1包をよく噛んで食べるような飲み方に変えました。こんなところにも生真面目な性格が顔をのぞかせます。

「1年くらいした頃でしたね。気づいたら指のしびれがまったくなく

なっていたんです。同時に気になっていた甲状腺も平常に戻っていて、さらにパニック障害もラクになっていたんです。すべてが正しい方向に向かって、何はなくてもSODは欠かせないと思います」



それまではお友達と毎月のように有名な日本食のお店で懐石料理を食べることが楽しみだった朝子さん。

「その分がSODに化けてしまいました」

とユーモラスに大笑い。

「実はね、2014年から3年くらいSODをサボっていたときがあったんです。体調も良かったし、家のリフォームなんかで余計なお



黒胡麻をいっぱい飲んで血液検査に臨んだら、すべて異常なしだったという朝子さん

金がかかって。そうしたら、今度は閃輝暗点になったんです。頭痛がひどくなって、目がチカチカするんです。強い光が目飛び込んでくるような感覚で、怖かったですね。ひよっとして脳梗塞も原因のひとつかもしれないと思いました。ああ、SODをサボっていたからかもしれないと」

とか。以来SODを6包、黒胡麻を1包を飲むようになったのです。「黒胡麻はおいしく食べられるからすごく気に入ったの。それに黒胡麻を飲み始めてから、閃輝暗点がどんどんよくなって、なくなったんですよ。1日たったの1包で」

それから数年。2020年の9月のこと。今度は、「37年間悩まされていたパニック障害も治ったんです。長かったですね」としみじみ。

それにしても正確な年月まで出てきて驚きました。朝に食べたものからSODを

飲んだ時間、包数などすべてを日記のようにノートにとっているのだそうです。

こんなところにも几帳面な性格がにじみ出ていました。

「この会報の体験談、毎回楽しみにしているんですよ。SOD

SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都 世田谷区
玉川1-15-2 B棟2802

日本SOD研究会 宮城宛

TEL 03-5787-3498

までご一報下さい。

や黒胡麻がどんな症状にいいのかわかる参考になりますよね。だって、テレビでCMやっているものなんかほとんど信用できないですから。飲んででも飲まなくても変わらないものばかり。やはり身をもって体験したものでない」と

とありがたいお言葉。

夏真っ盛りの暑いなか、私が道に迷って困っていないかとわざわざ近所まで迎えに来てくださった朝子さん。さすが日頃スポーツクラブで運動しているだけあります。好奇心旺盛で行動的。とても若々しくチャームイングでした。

◆丹羽療法の診察をご希望の方は、ご紹介、ご予約いたします。

(自由診療となります)

※現在、丹羽先生の診察は新型コロナウイルス感染症対策の為、お休みしております。

丹羽メディカル研究所

☎0120(731)175

●SOD様作用食品とは● 丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力を握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されません。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをきっかけにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの。私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は今も、土佐丹羽クリニック院長として、毎日、医療の現場でがん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたっています。また、SODなどを始めとする論文は海外でも高い評価を得、日本のみならず海外の学会で講演をしたり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送っています。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。

「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのではないか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある